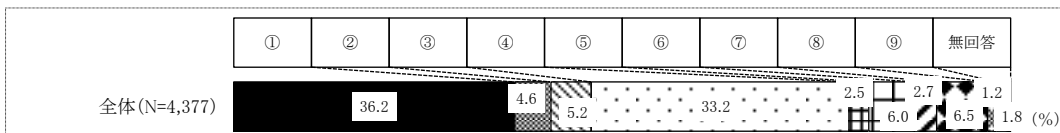


定着

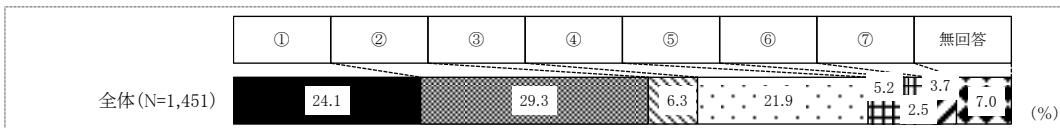
1. 看護職員就業等実態調査結果から

(1) 今後の働き方



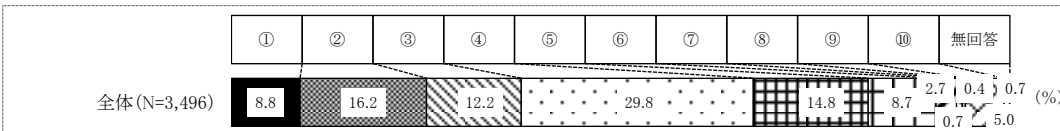
- ① 今の職場(法人内の異動を含む)で働き続けたい
- ② 今と同じ施設種別で、職場を変わりながら長く働き続けたい
- ③ 今と異なる施設種別で、職場を変わりながら長く働き続けたい
- ④ 家庭の事情等に合わせて、無理なく、働きやすい職場で働き続けたい
- ⑤ 出産・育児などの期間は仕事をやめて、その後看護職員として再就業したい
- ⑥ 専門・認定看護師取得や、特定行為研修を受け、専門性を活かして働きたい
- ⑦ 看護職員として、長く働き続けるつもりはない
- ⑧ 特に考えていない / ⑨ その他

(2) 働きやすい職場(最上位)



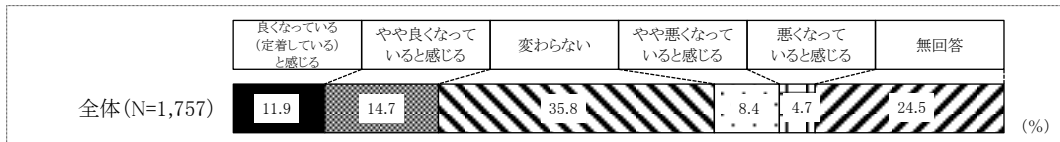
- ① 不規則勤務がない職場、夜勤がない職場
- ② 自宅から近い職場
- ③ 短時間勤務が可能な職場
- ④ 休暇を取りやすい職場
- ⑤ 土・日・祝日に休める職場
- ⑥ 緊急の呼び出しがない職場
- ⑦ その他

(3) 今の職場を選んだ理由(最上位)

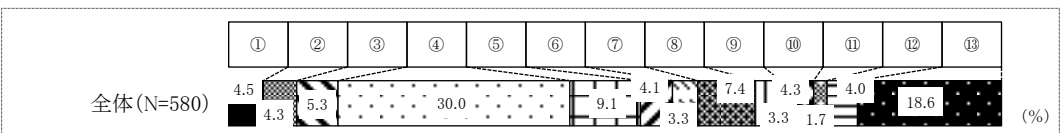


- ① やりたい看護ができる
- ② 興味のある分野、施設である
- ③ 新たな経験を積める
- ④ 通勤が便利である
- ⑤ 勤務時間と希望が合致している
- ⑥ 勤務条件が良い(給料、福利厚生、休暇制度等)
- ⑦ 育児・介護等の支援制度が充実している
- ⑧ 研修・教育体制が充実している
- ⑨ キャリアアップ・昇任の機会がありそう
- ⑩ その他

(4) 新人看護職員の定着状況(5年前との比較)



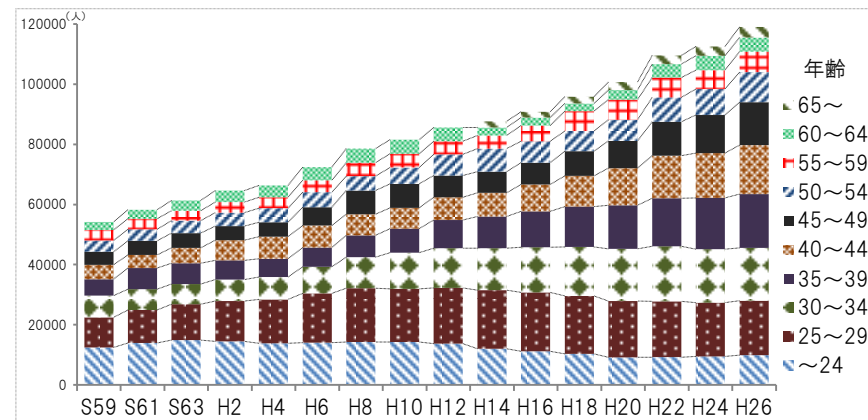
(5) 退職理由別退職者数(新人)



- ① 結婚
- ② 出産・育児
- ③ 転居
- ④ 本人の心身の不調
- ⑤ 家族の健康・介護問題
- ⑥ 勤務負担
- ⑦ 責任の重さ・医療事故への不安
- ⑧ 看護技術に不安
- ⑨ 待遇への不満
- ⑩ 職場の人間関係
- ⑪ 進学
- ⑫ ⑬ その他

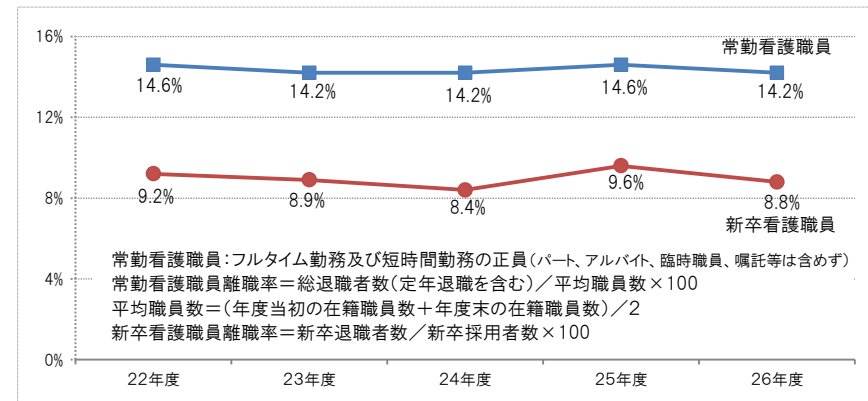
2. 参考データ

(1) 都内看護職員従事者数の年齢別推移



<データ: 衛生行政報告例>

(2) 都内看護職員離職率



<データ: 公益社団法人日本看護協会>

3. 議論・検討のポイント

- ◆ ライフ・ワーク・バランスの充実に向けた取組(出産・育児・介護・病気治療、組織風土)
- ◆ 経験に応じた人材育成(新人・中堅・ベテラン)
- ◆ 経験に応じたサポート体制(新人・中堅・ベテラン)